

# 最近の経済動向

## 令和3年5月号

(北海道の景気動向～令和3年3月の経済指標を中心として)

### 持ち直しの動きに弱さがみられる

#### ■生産動向

- P1 生産活動(鉱工業生産指数)  
低い水準で推移しているものの、一部に明るい動きがみられる

#### ■需要動向(消費・投資)

- P2 個人消費(百貨店・スーパー・コンビニエンスストア・専門量販店販売額、インターネットを利用した一世帯支出額、新車登録台数)  
一部が低い水準にとどまるものの、持ち直しの動きが続いている
- P6 住宅建設(新設住宅着工戸数)  
持ち直しの兆しがみられる
- P7 公共工事(公共工事請負金額)  
おおむね横ばいとなっている
- P8 観光(来道者数、来道外国人数)  
引き続き厳しい状況となっている
- P10 輸出入(輸出額、輸入額)  
輸出額、輸入額とも前年を上回った

#### ■企業倒産

- P11 企業倒産(倒産件数、負債総額)  
倒産件数、負債総額ともに減少した

#### ■雇用動向

- P13 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、月間有効求人倍率、完全失業率)  
弱い動きが続いている

#### ■物価動向

- P15 物価(消費者物価指数)  
消費者物価指数は前年を下回った

#### ■企業の業況感

- P16 企業経営者意識調査  
前期から上昇している
- P17 企業のみなさまから伺いました

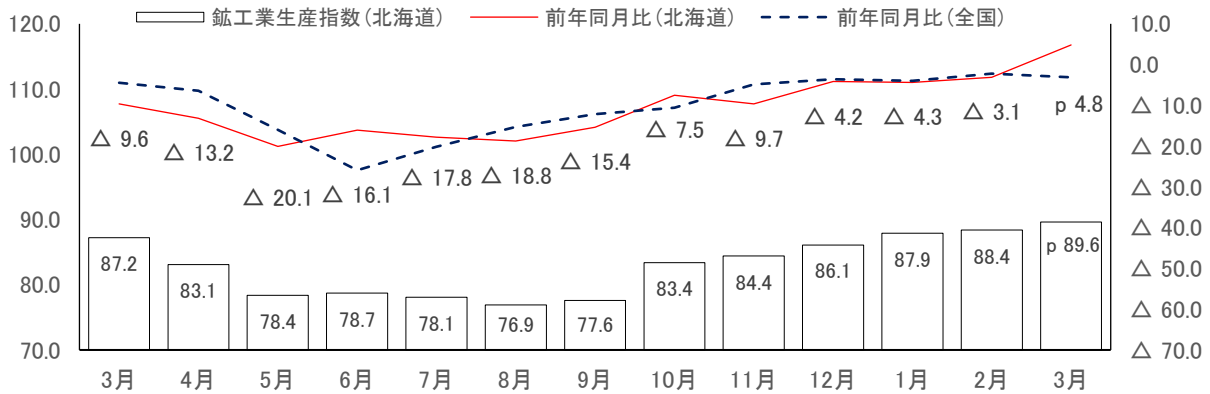
# 生産活動～低い水準で推移しているものの、一部に明るい動きがみられる

## 鉱工業生産指数（3月）

鉱工業生産指数（季節調整済）は、89.6で前月比+1.4%（7か月連続で上昇）であり、原指数による前年同月比は、4.8%（18か月ぶりに上昇）となった。業種別にみると、化学・石油石炭製品工業など9業種が前月比上昇、一般機械工業など6業種が前月比低下となった。

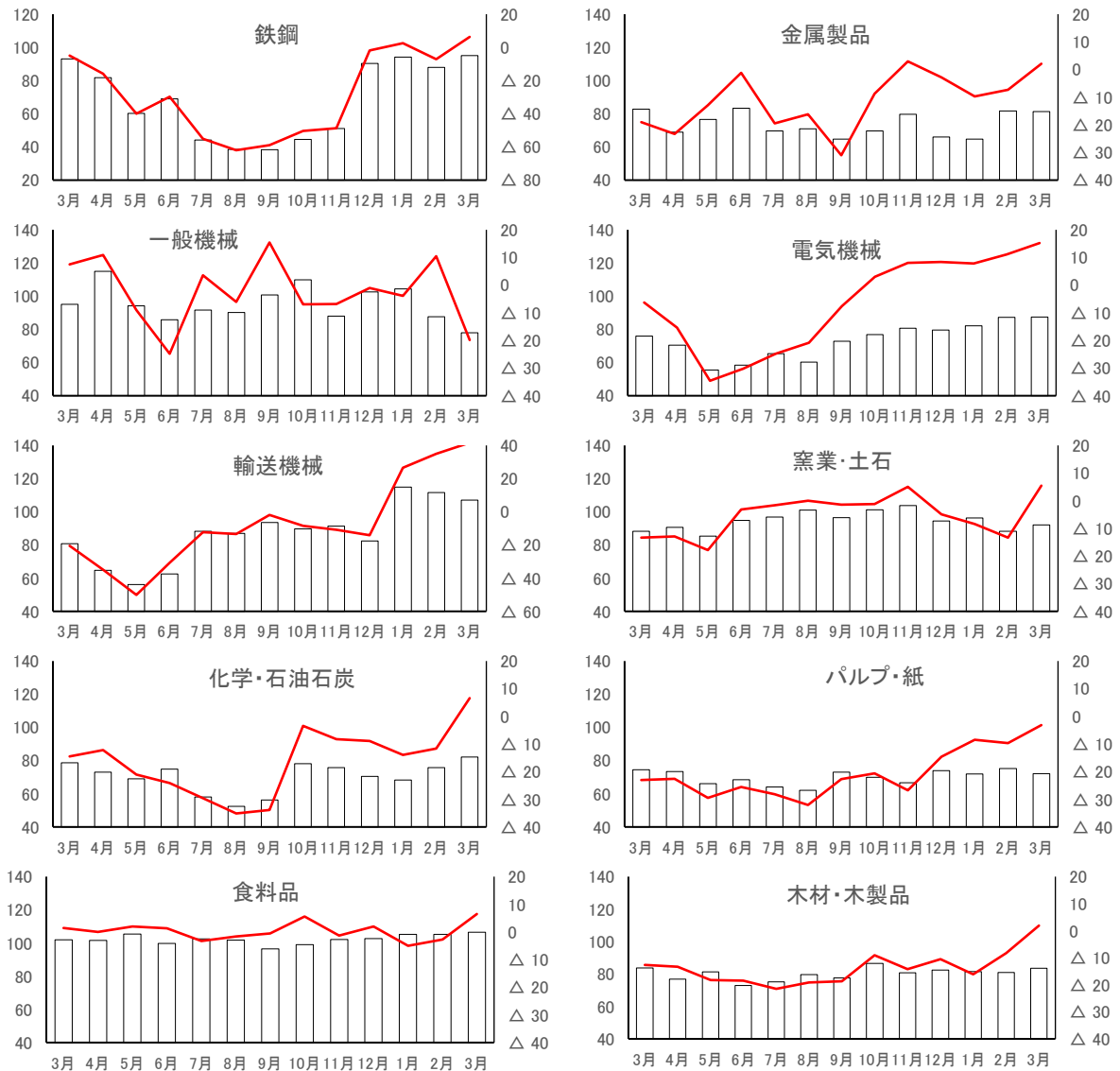
（季節調整済指数：平成27年=100）

（原指数前年同月比：%）



### ■ 主な業種の季節調整済指数(右軸:原指数前年同月比%)

\*「p」は速報値

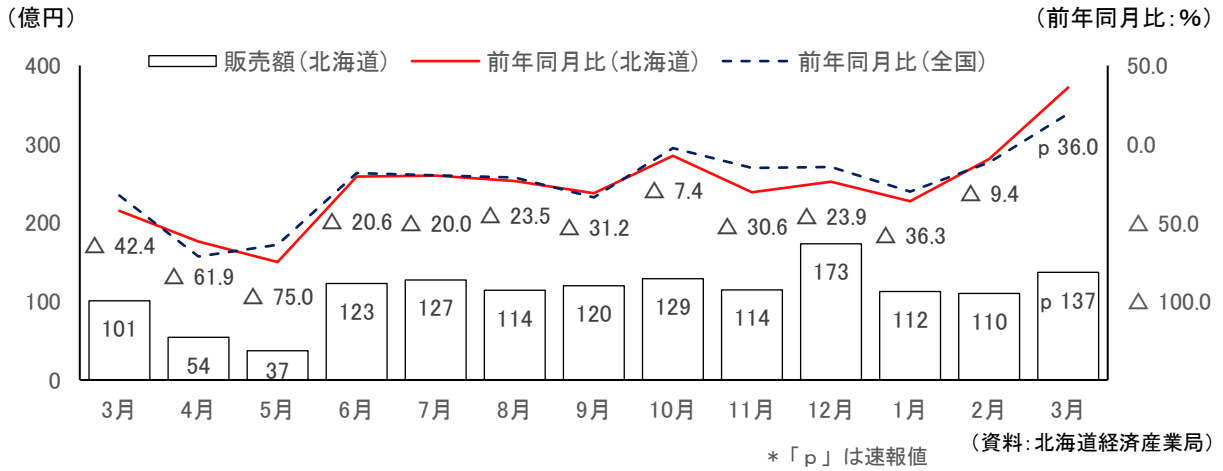


（資料：北海道経済産業局）

# ■個人消費～一部が低い水準にとどまるものの、持ち直しの動きが続いている

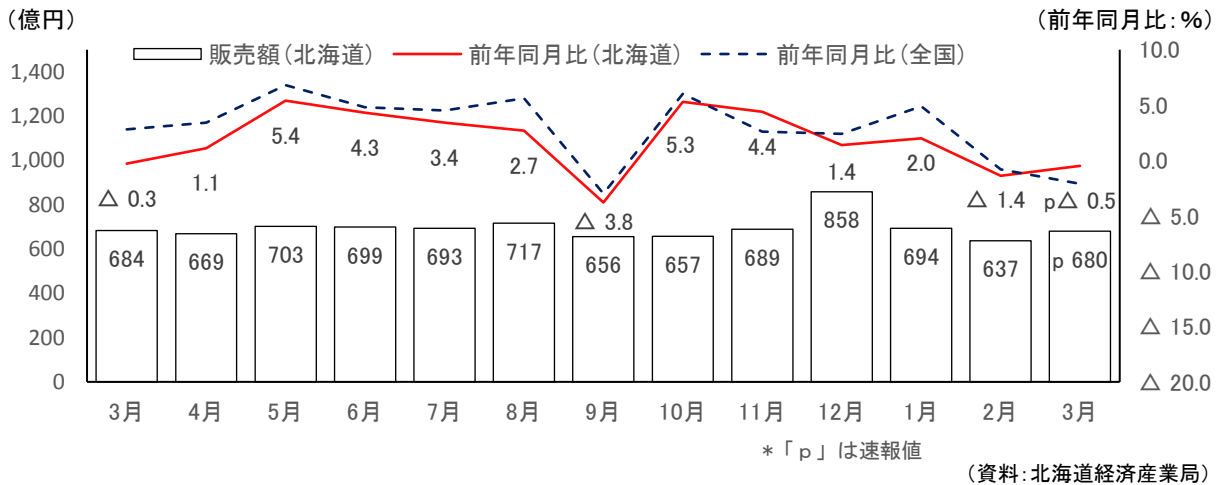
## 百貨店販売額（3月）

百貨店販売額は、137億円で前年同月比36.0%の増加となり、18か月ぶりに前年を上回った。



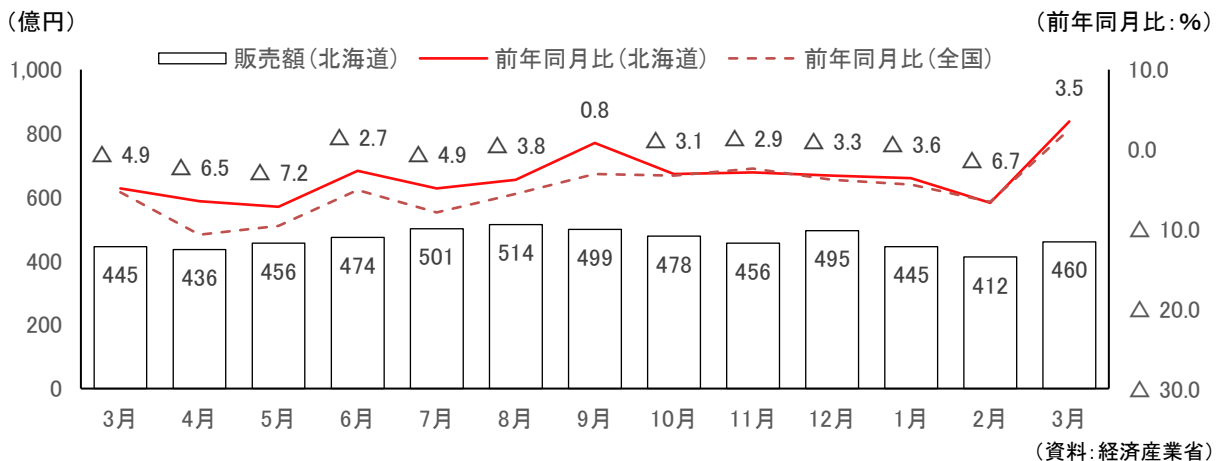
## スーパー販売額（3月）

スーパー販売額は、680億円で前年同月比0.5%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。



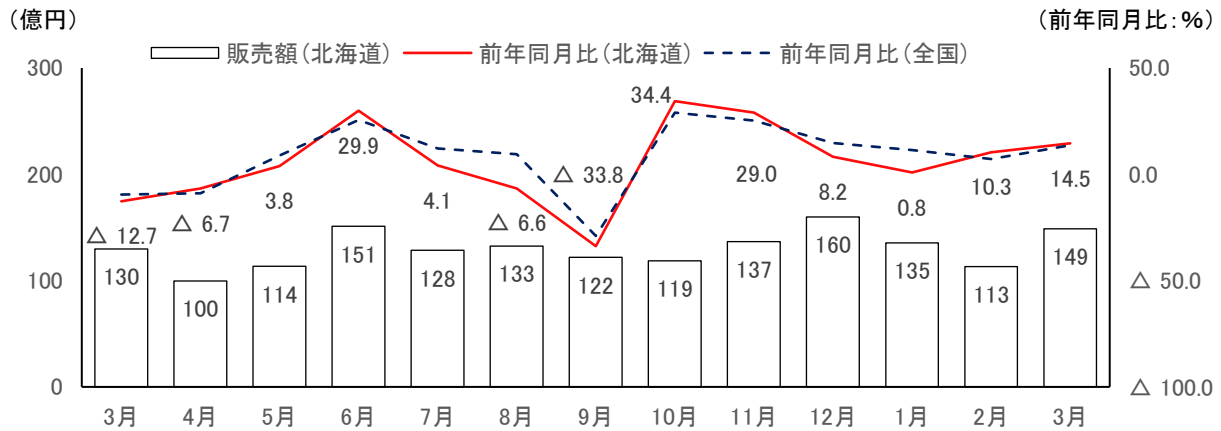
## コンビニエンスストア販売額（3月）

コンビニエンスストア販売額は、460億円で前年同月比3.5%の増加となり、6か月ぶりに前年を上回った。



## 家電大型専門店販売額（3月）

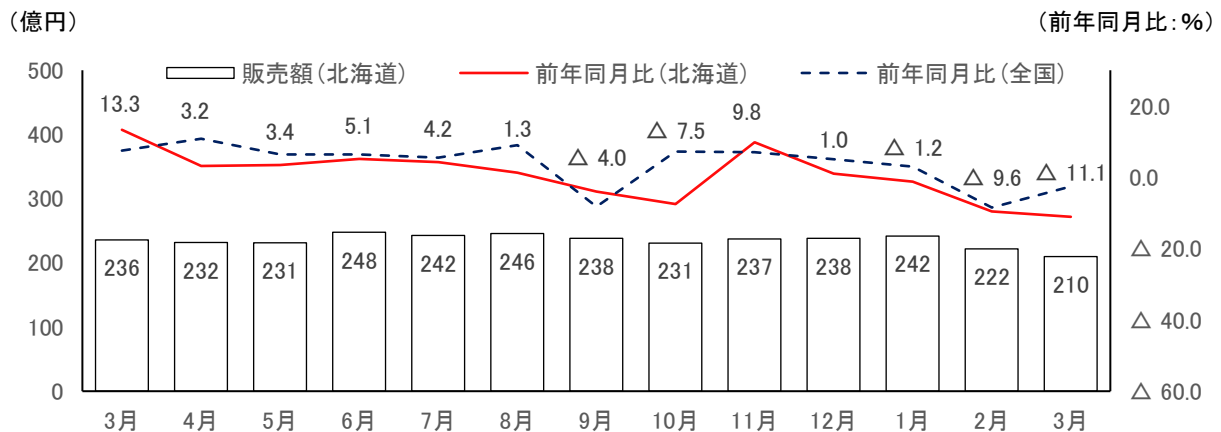
家電大型専門店販売額は、149 億円で前年同月比 14.5%の増加となり、6 か月連続で前年を上回った。



(資料:経済産業省)

## ドラッグストア販売額（3月）

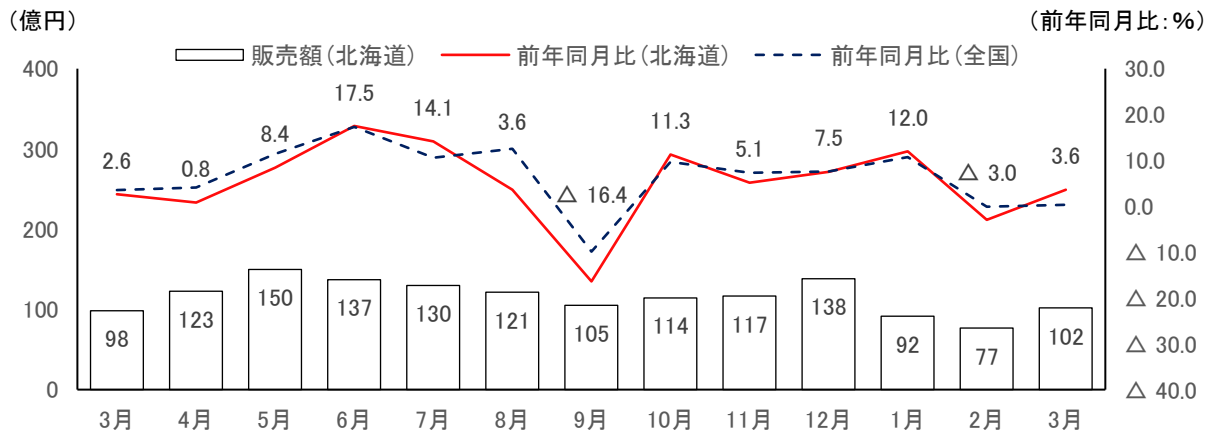
ドラッグストア販売額は、210 億円で前年同月比 11.1%の減少となり、3 か月連続で前年を下回った。



(資料:経済産業省)

## ホームセンター販売額（3月）

ホームセンター販売額は、102 億円で前年同月比 3.6%の増加となり、2 か月ぶりに前年を上回った。

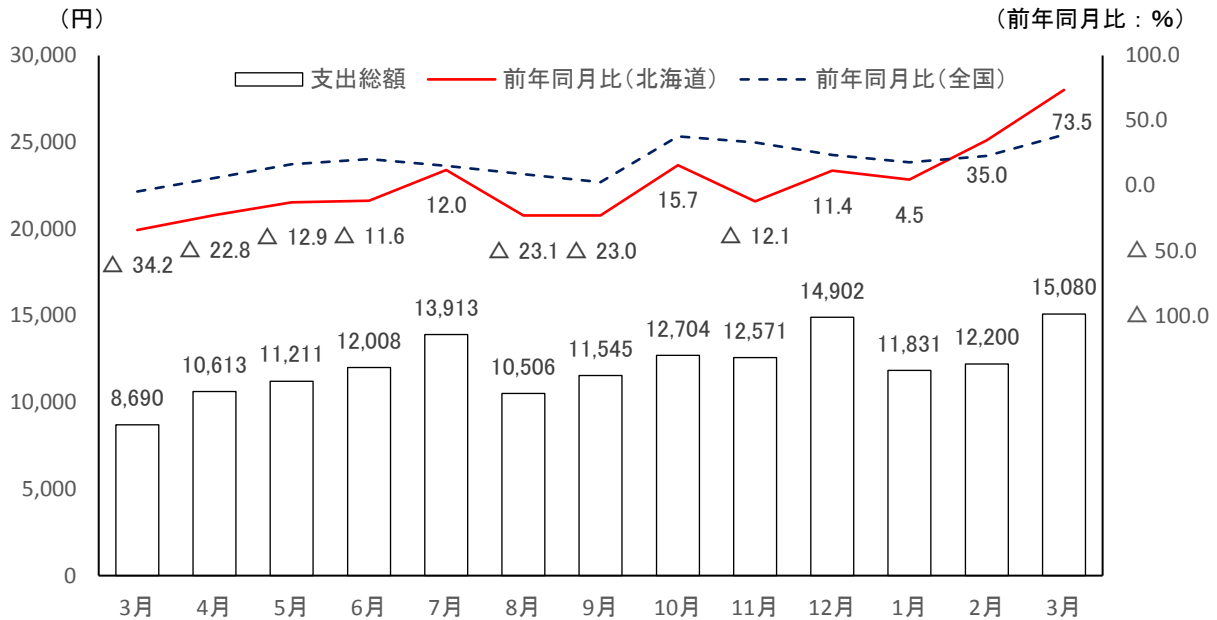


(資料:経済産業省)

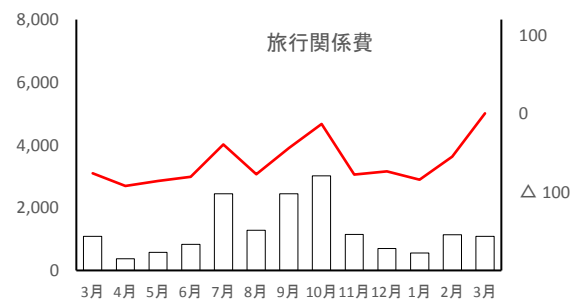
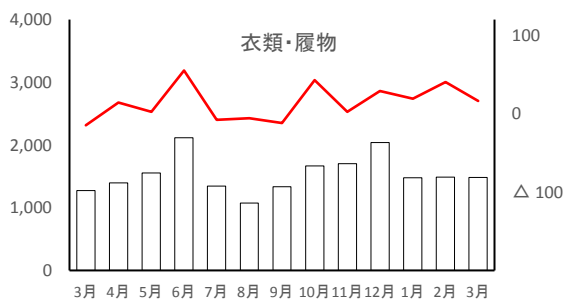
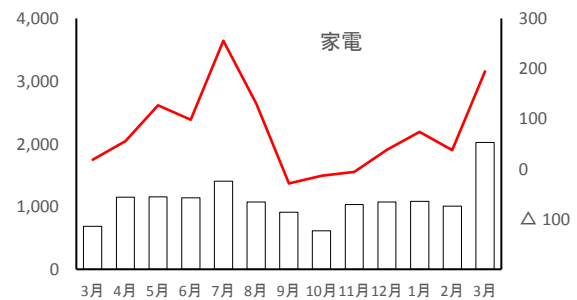
## インターネットを利用した1世帯当たり1か月間の支出（3月）

インターネットを利用した1世帯当たり1か月間の支出総額は15,080円で、前年同月比73.5%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。

品目別にみると、食料は2,257円で前年同月比99.4%の増加、家電は2,025円で同194.8%の増加、衣類・履物は1,484円で同16.4%の増加、旅行関係費が1,089円で同0.4%の増加となった。



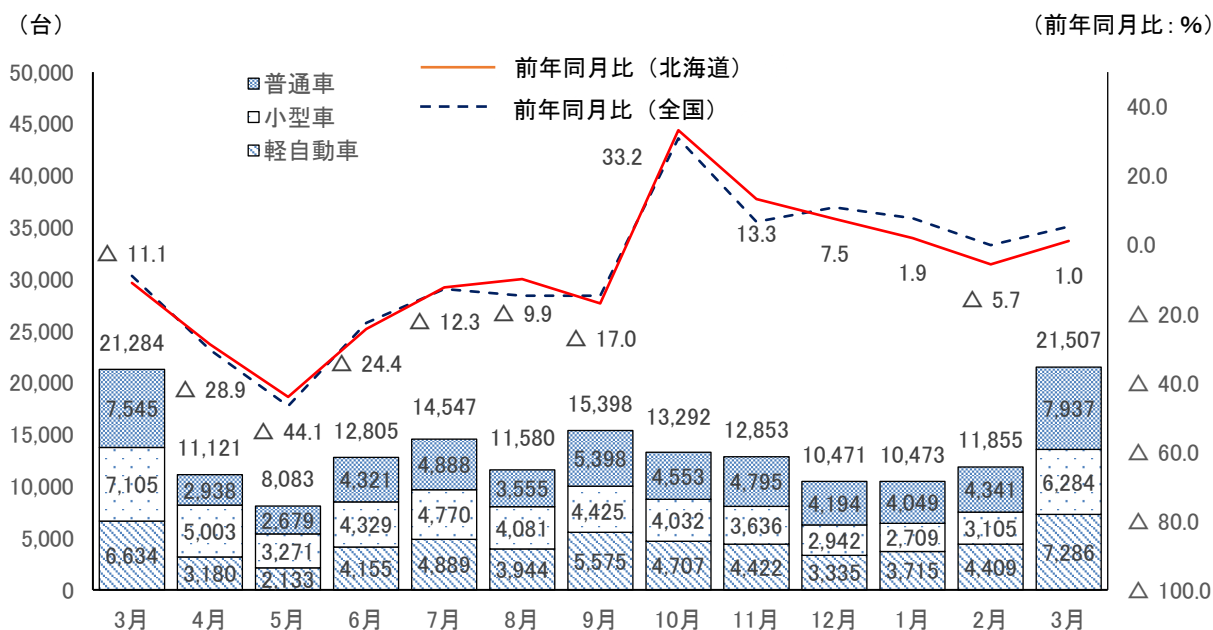
### ■品目別支出額（右軸：前年同月比%）



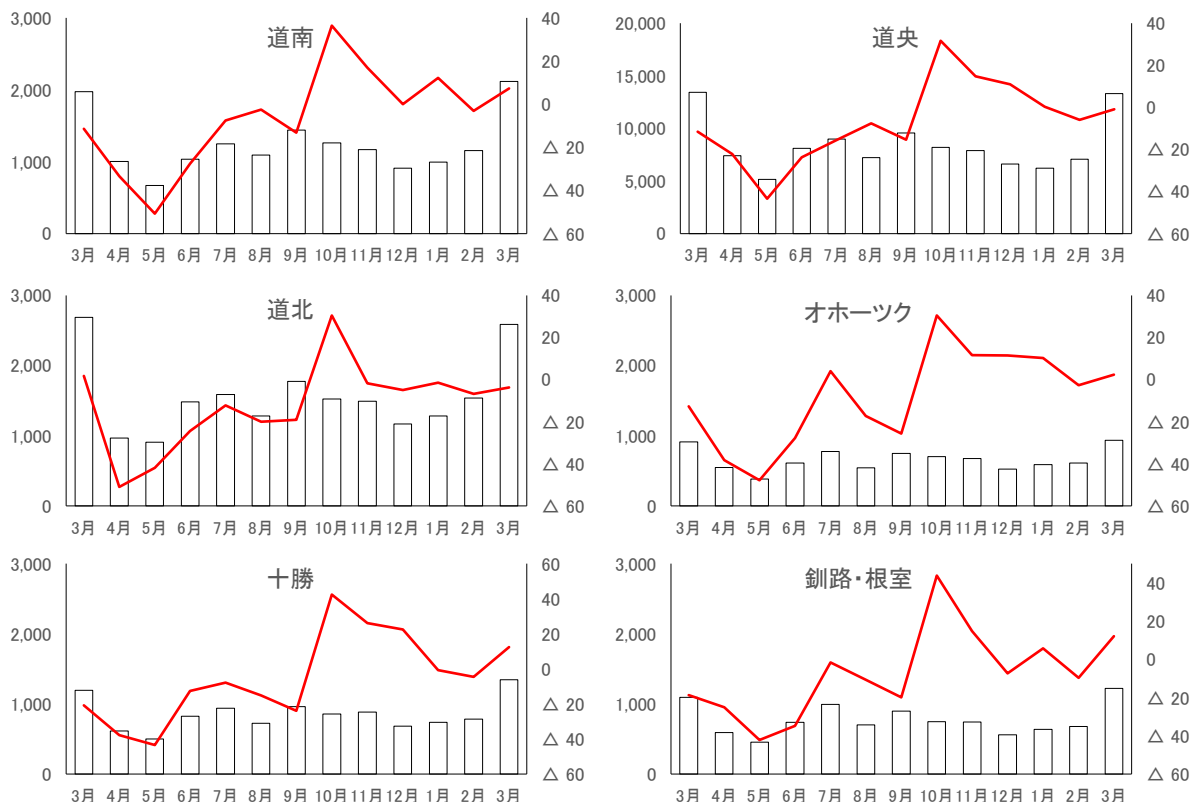
（資料：総務省）

## 新車登録台数（3月）

新車登録台数は、21,507台で前年同月比1.0%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。  
 車種別にみると、普通車は、7,937台で前年同月比5.2%の増加、小型車は、6,284台で同11.6%の減少、軽自動車は、7,286台で同9.8%の増加となった。



### ■各圏域の新車登録台数（右軸：前年同月比%）

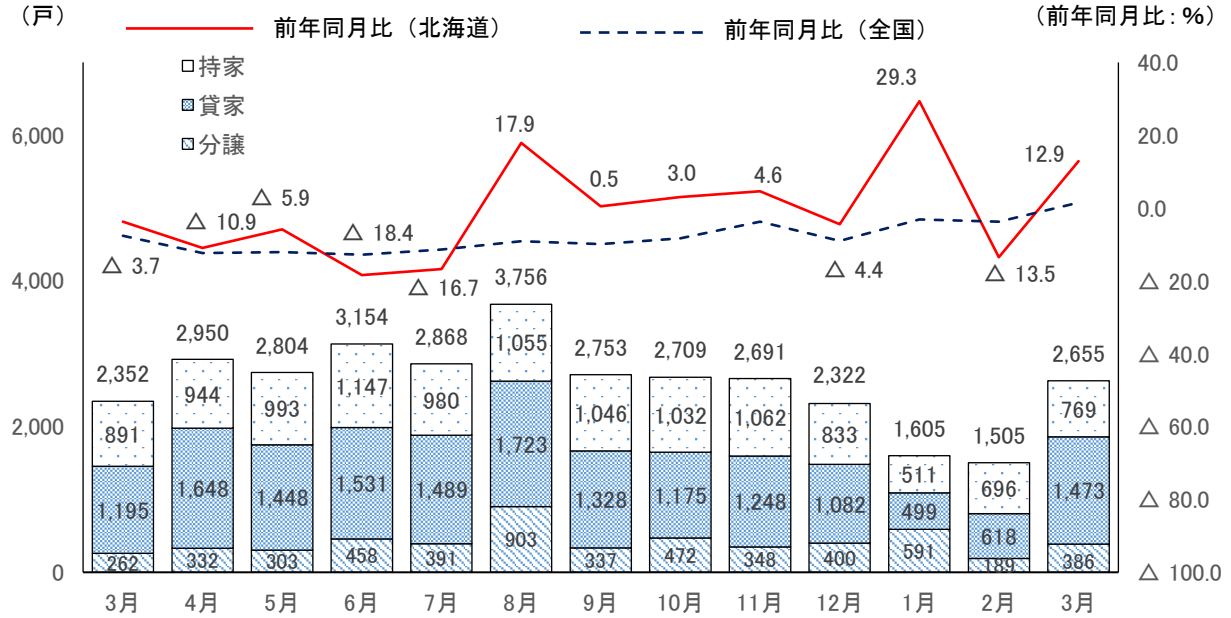


(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

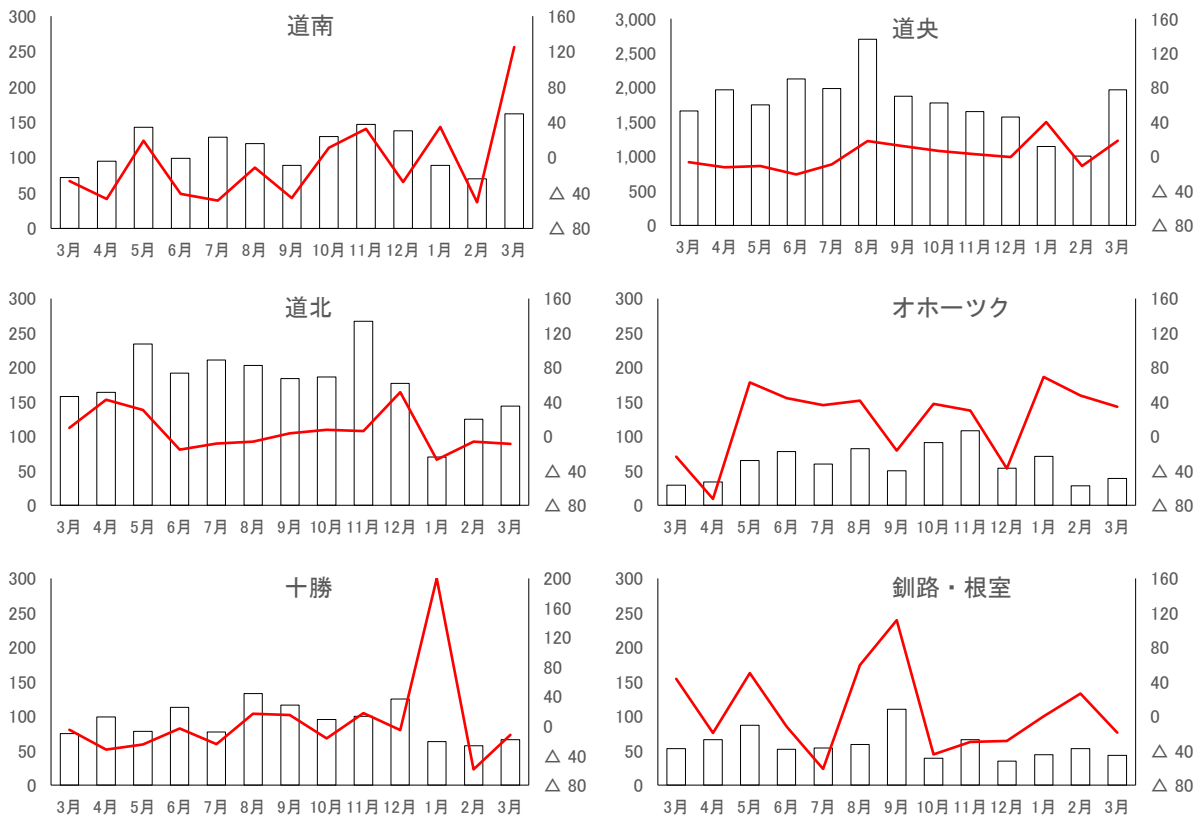
# ■住宅建設～ 持ち直しの兆しがみられる

## 新設住宅着工戸数（3月）

住宅着工戸数は、2,655戸で前年同月比12.9%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。  
 利用関係別にみると、持家は、769戸で同13.7%の減少、貸家は、1,473戸で23.3%の増加、分譲住宅は386戸で同47.3%の増加となった。



## ■各圏域の新設住宅着工戸数（右軸：前年同月比%）

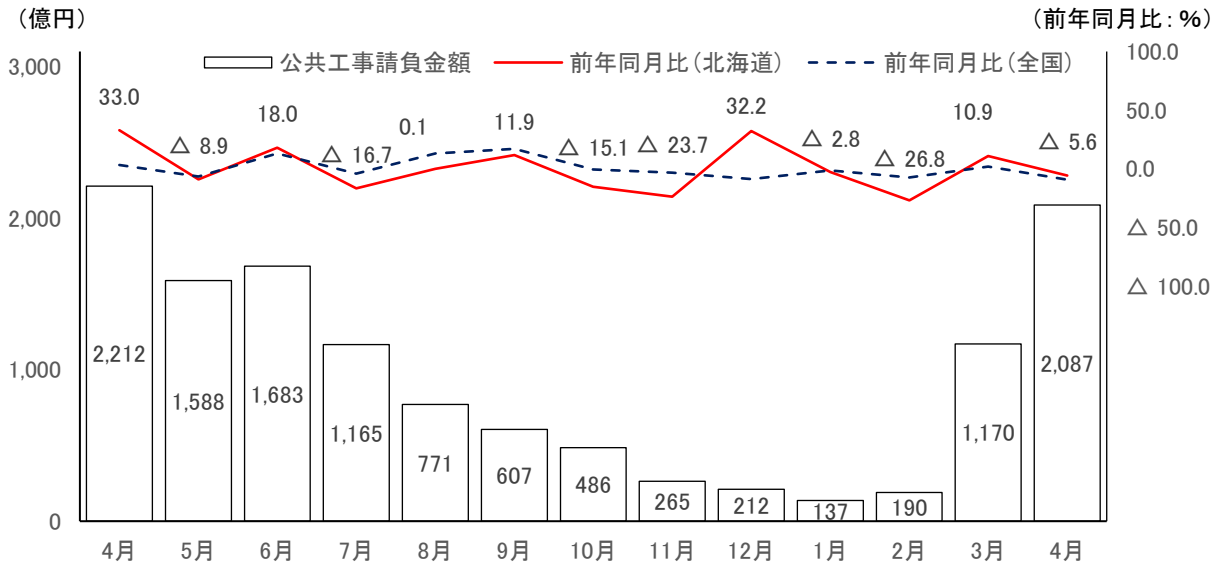


(資料:国土交通省)

# ■公共工事～おおむね横ばいとなっている

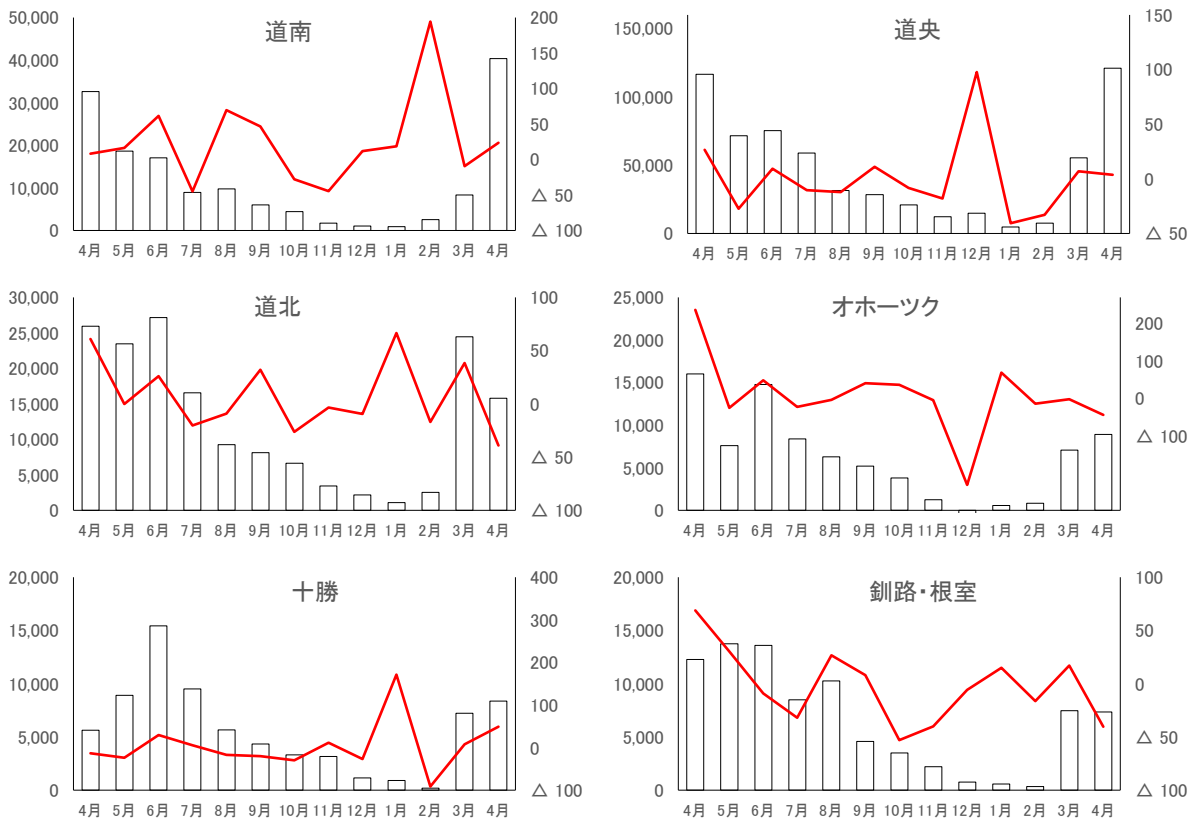
## 公共工事請負金額（4月）

請負金額は、2,087 億円で前年同月比 5.6%の減少となり、2 か月ぶりに前年を下回った。



(資料:北海道建設業信用保証(株))

## ■各圏域の公共工事請負金額（左軸：百万円、右軸：前年同月比%）



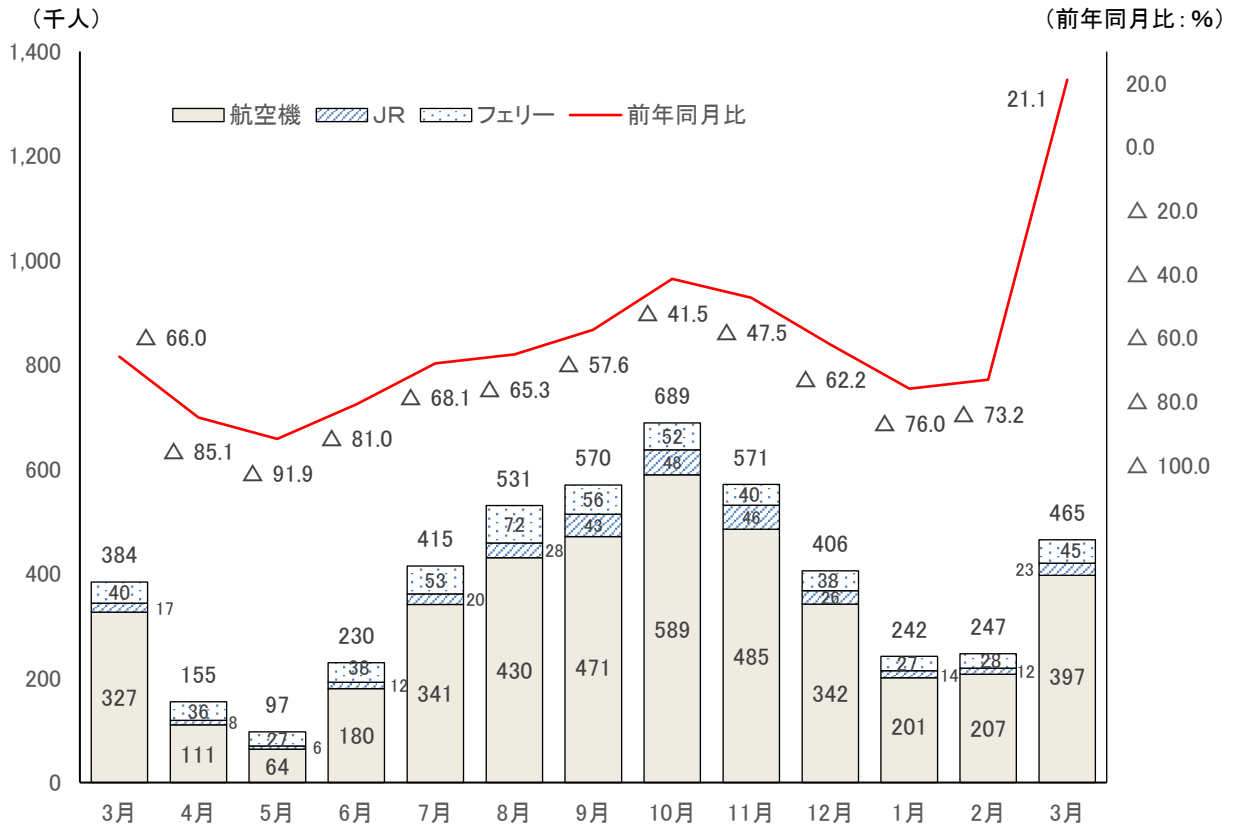
(資料:北海道建設業信用保証(株))



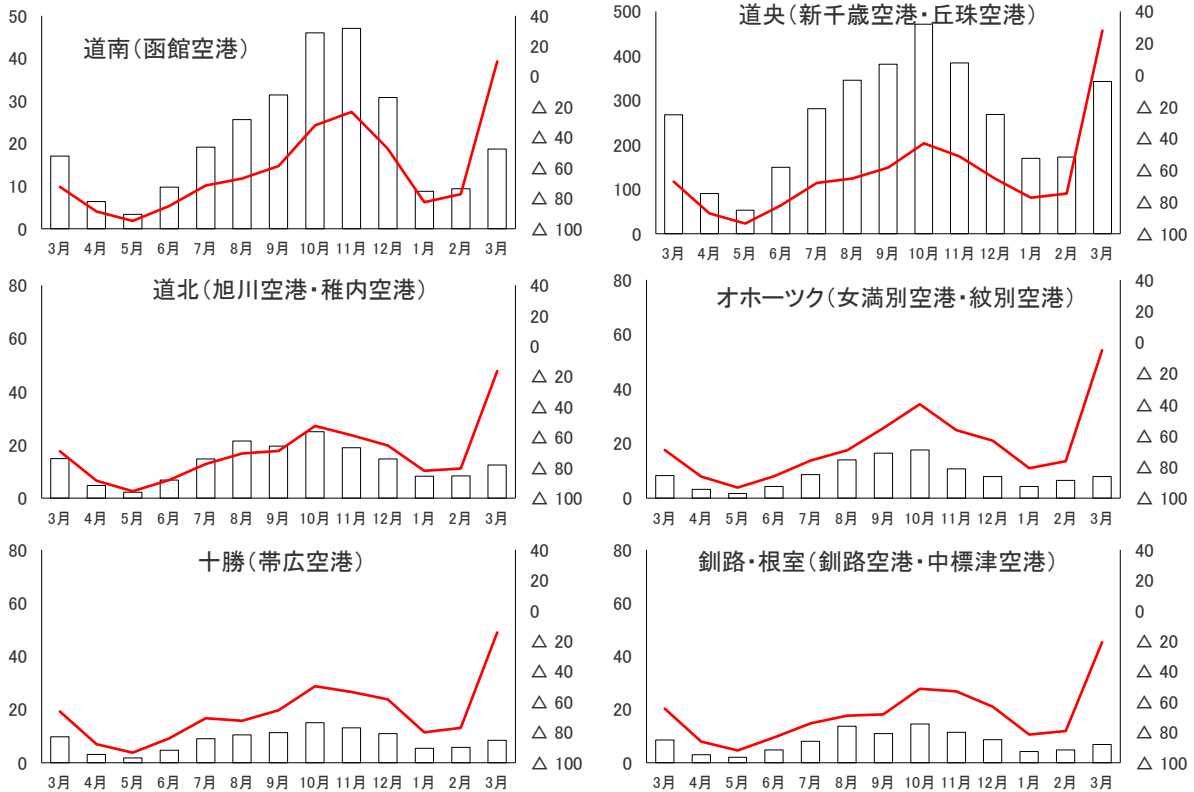
# ■観光～引き続き厳しい状況となっている

## 来道者数（3月）

来道者数は、46万5千人で前年同月比21.1%の増加となり、14か月ぶりに前年を上回った。



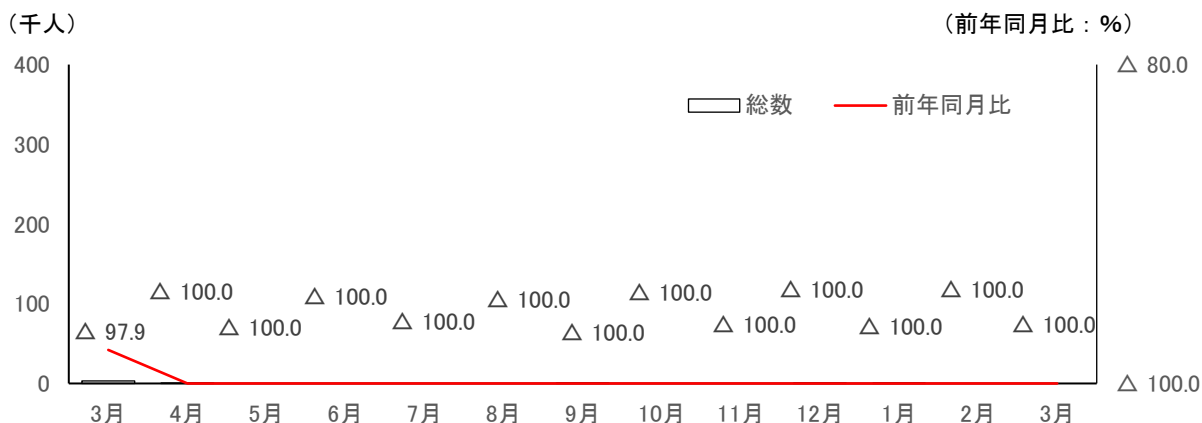
### ■各圏域の航空機利用による来道者数（左軸：千人、右軸：前年同月比%）



(資料：(公社)北海道観光振興機構)

### 来道外国人数（3月）

本道に直接入国した外国人は、0人で前年同月比100.0%の減少となり、18か月連続で前年を下回った。

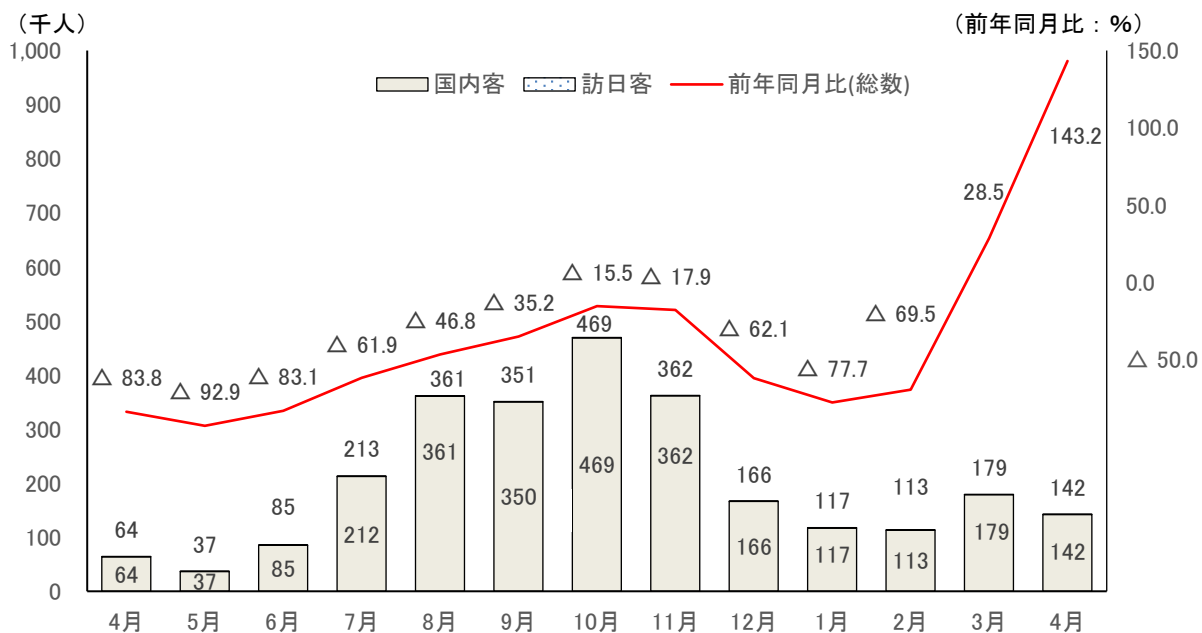


\*「p」は速報値 (資料:法務省入国管理局)

### 宿泊者数（4月）

日本旅館協会加盟施設の宿泊者数は、141,861人で前年同月比143.2%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。

このうち、国内客は141,786人で同143.6%の増加、訪日客は75人で同39.5%の減少となった。

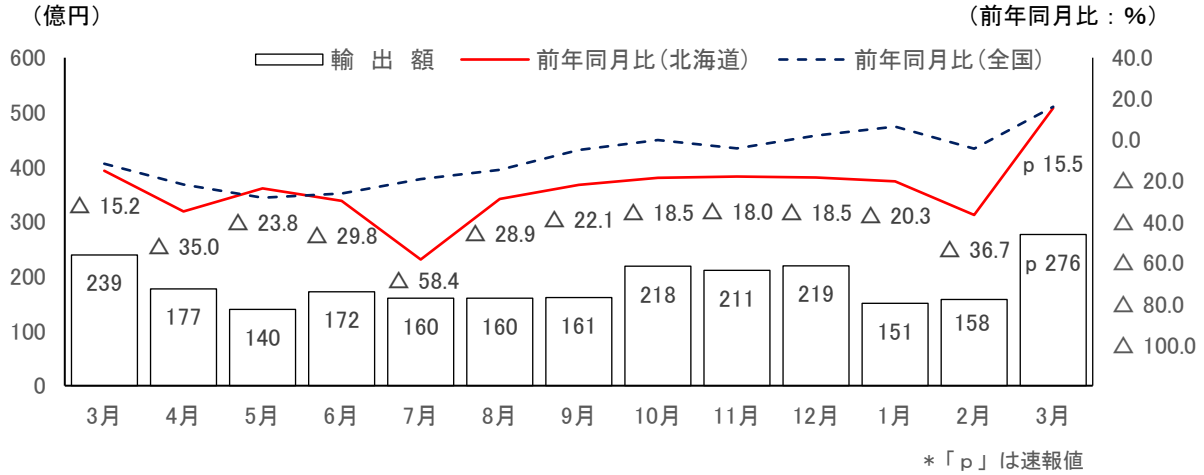


(資料:日本旅館協会北海道支部連合会)

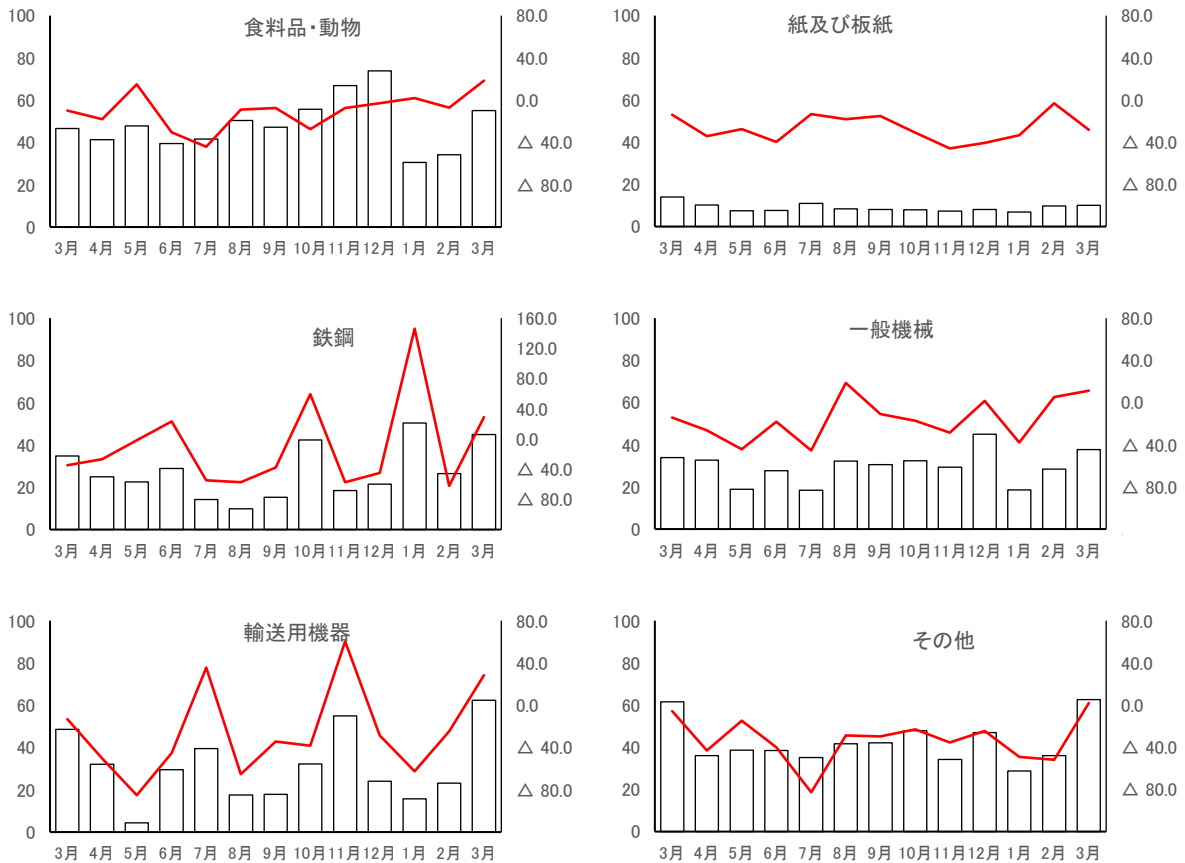
# ■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を上回った

## 輸出額（3月）

輸出額は、276億円で前年同月比15.5%の増加となり、20か月ぶりに前年を上回った。品目別にみると、鉄鋼くず、鉄鋼、自動車の部分品などが増加し、石油製品、電気機器、紙・板紙などが減少した。



## ■種類別の輸出額（右軸：前年同月比%）

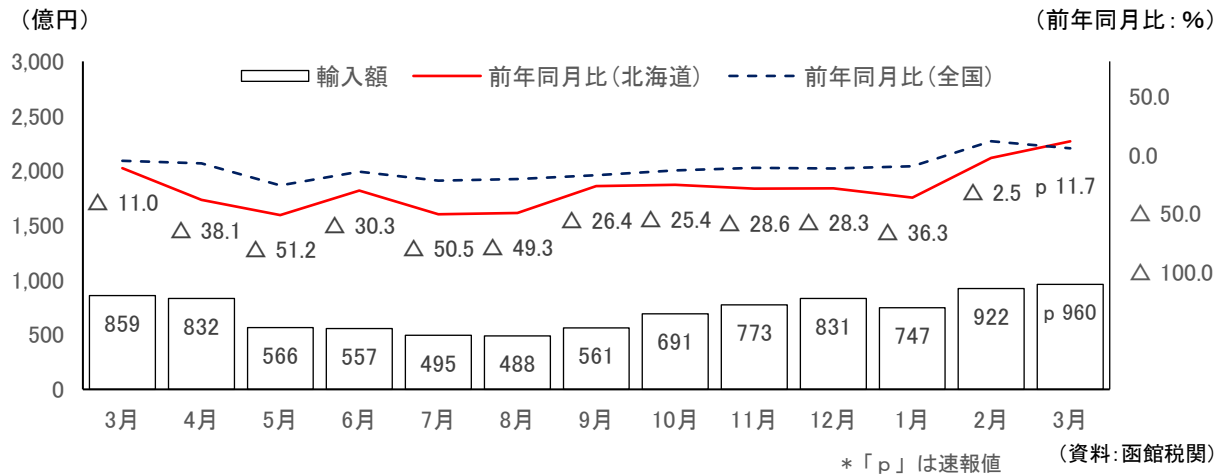


(資料: 函館税関)

## 輸入額（3月）

輸入額は、960億円で同11.7%の増加となり、23か月ぶりに前年を上回った。

品目別にみると、天然ガス・製造ガス、一般機械、ウッドチップなどが増加したが、原油・粗油、石炭、再輸入品などが減少した。



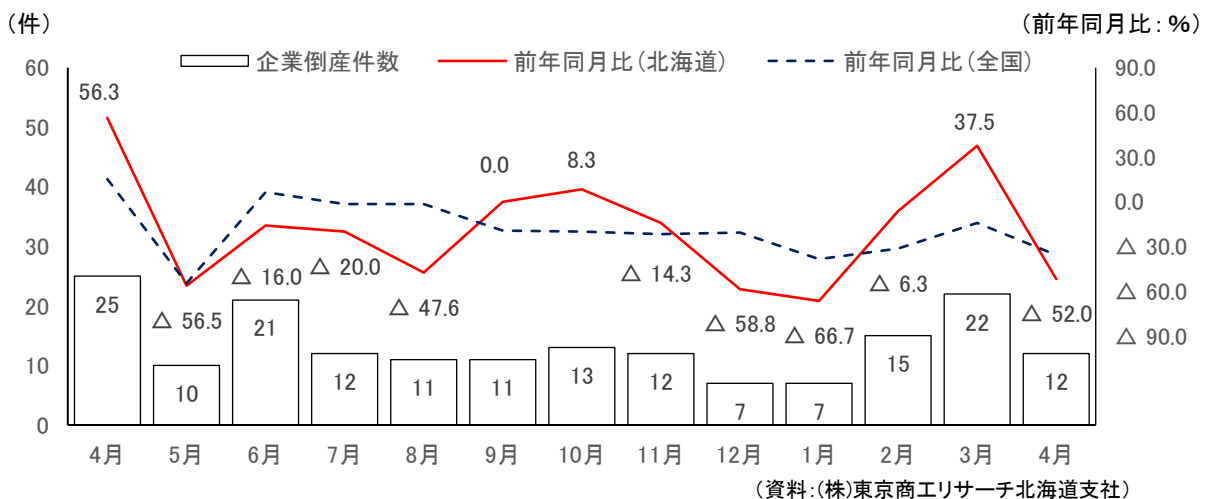
## ■企業倒産～倒産件数、負債総額ともに減少した

### 倒産件数（4月）

企業倒産件数は12件、前年同月比で13件の減少となった。

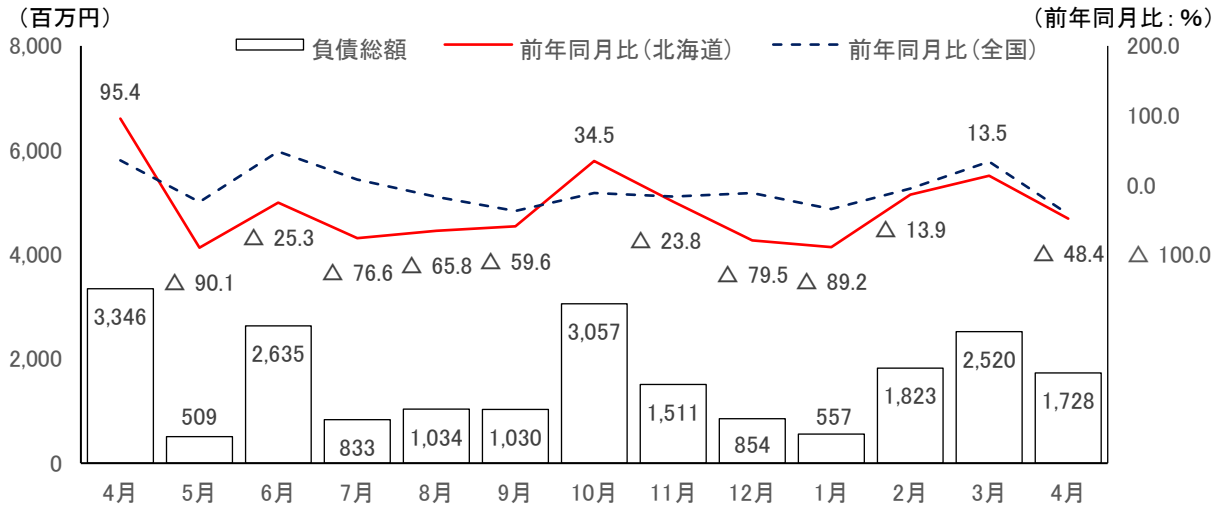
原因別でみると、販売不振が6件（構成比50.0%）と半数を占めた。

業種別でみると、サービス業・その他が5件（構成比42.0%）、製造業が3件（構成比25.0%）、卸・小売業が2件（構成比16.7%）、建設業が1件、運輸業が1件であった。

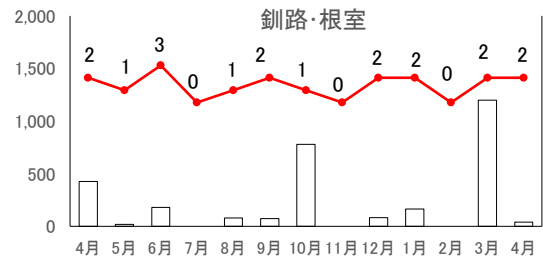
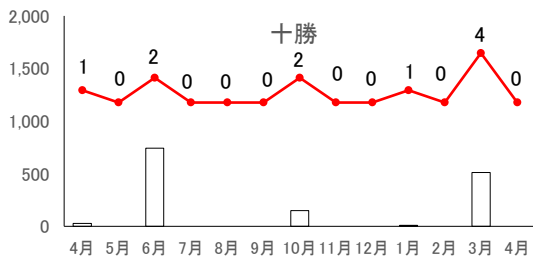
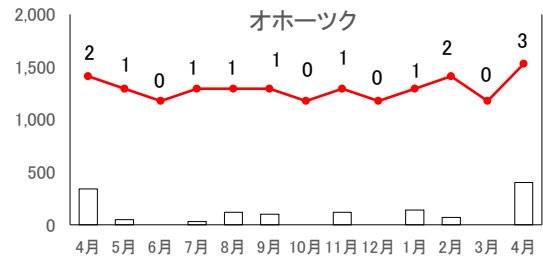
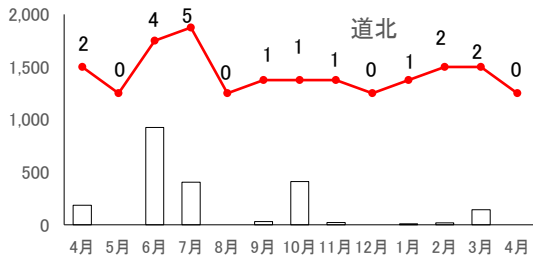
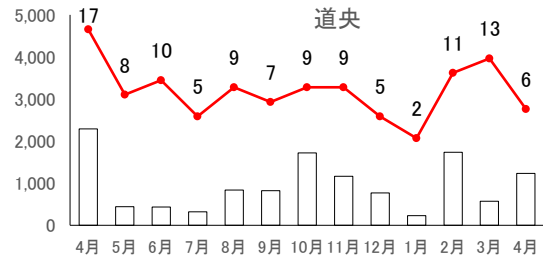
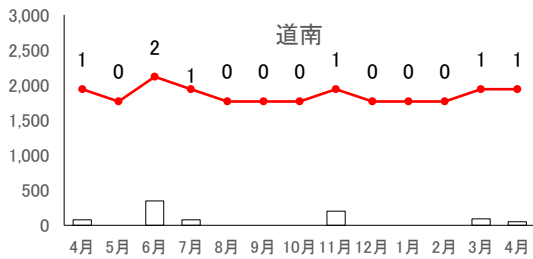


## 負債総額（4月）

負債総額は、17億28百万円で同48.4%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。



### ■各圏域の負債総額と倒産件数（折れ線）



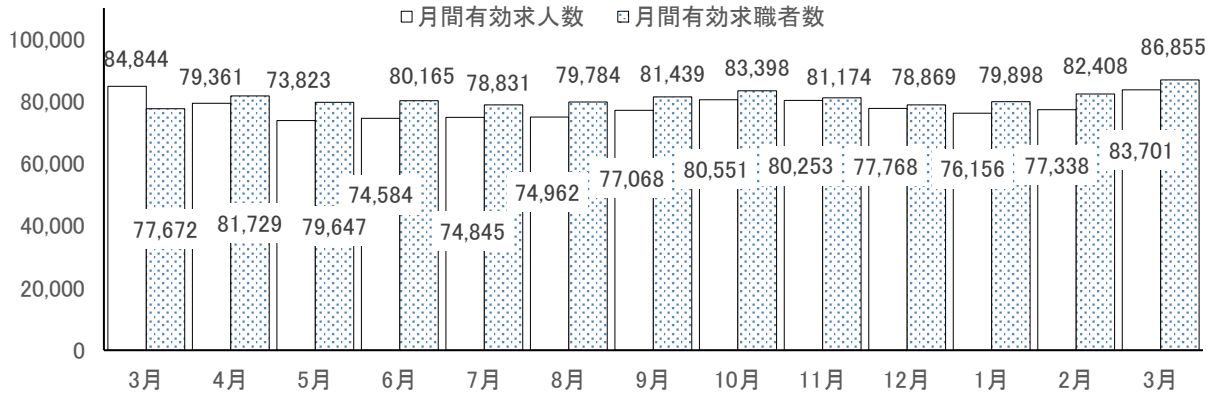
(資料):(株)東京商工リサーチ北海道支社)

## ■求人・求職～弱い動きが続いている

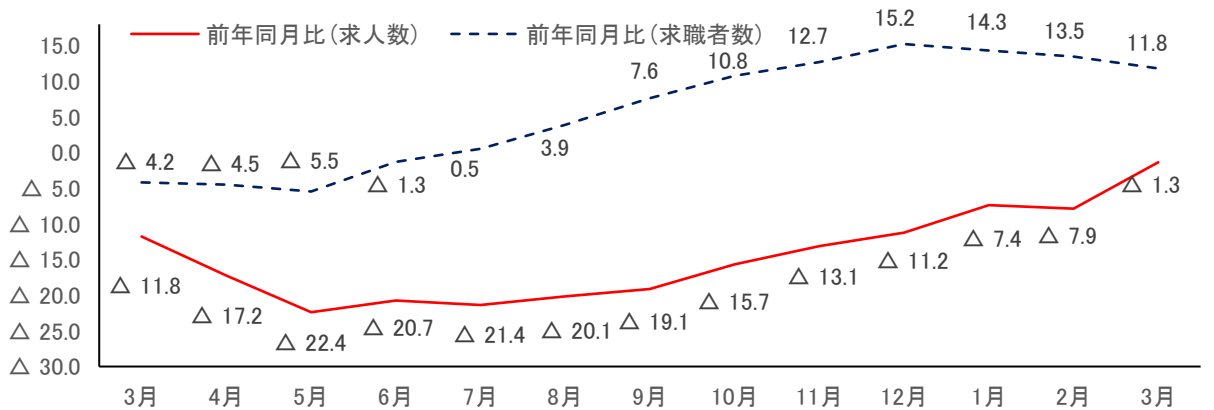
### 月間有効求人数・求職者数（3月）

月間有効求人数は、8万3,701人で前年同月比1.3%の減少となり、17か月連続で前年を下回った。月間有効求職者数は、8万6,855人で同11.8%の増加となり、9か月連続で前年を上回った。

(人)



(前年同月比：%)



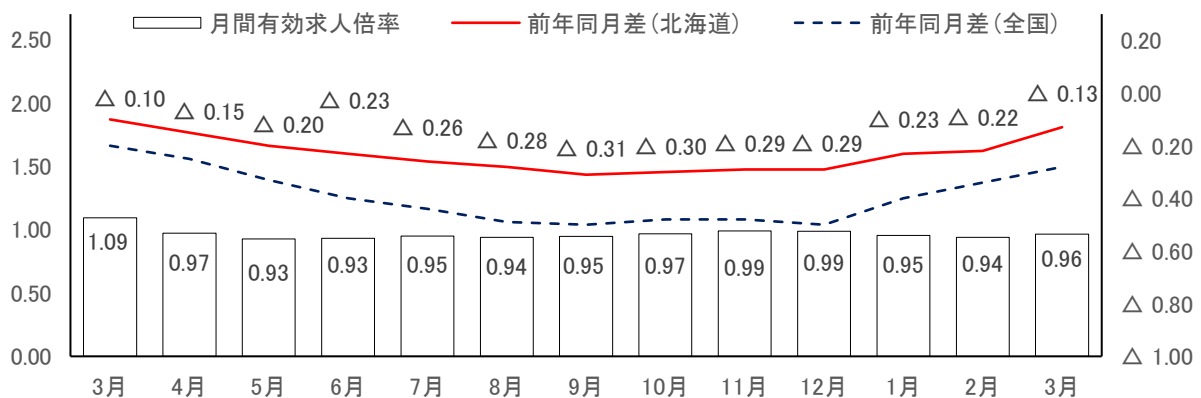
(資料：北海道労働局)

### 月間有効求人倍率（3月）

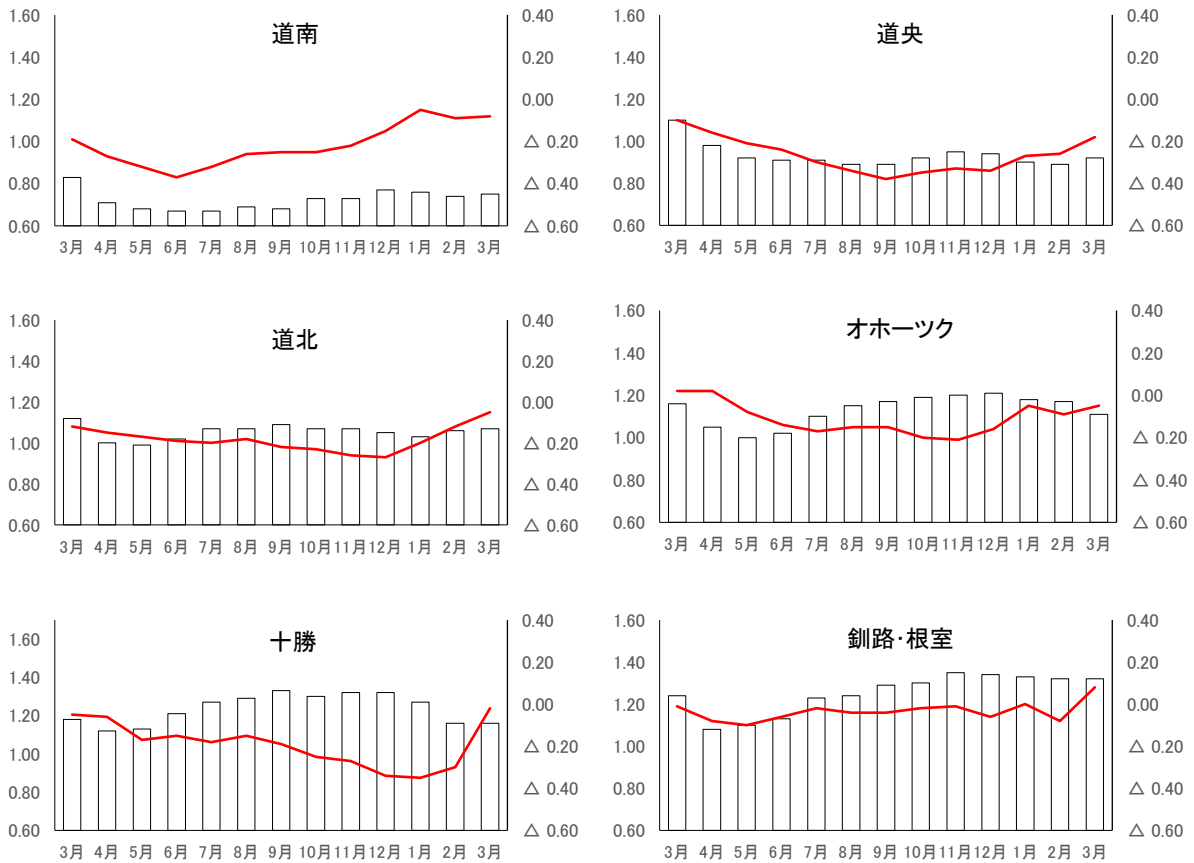
有効求人倍率は0.96倍で、前年同月差で0.13ポイントの減少となり、15か月連続で前年を下回った。

(倍)

(前年同月差：ポイント)



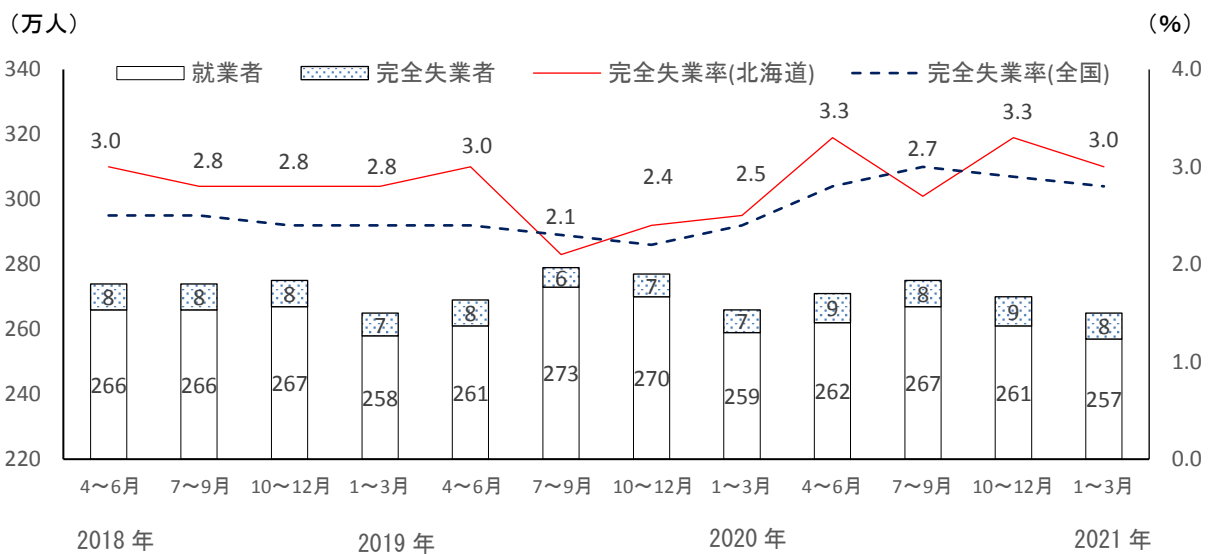
■各圏域の月間有効求人倍率（右軸は前年同月差）



(資料:北海道労働局)

完全失業者数、完全失業率（令和3年1～3月）

完全失業者数は8万人で、前年同期と比べ1万人増加している。  
完全失業率は3.0%で、前年同期と比べ0.5ポイント上昇となっている。

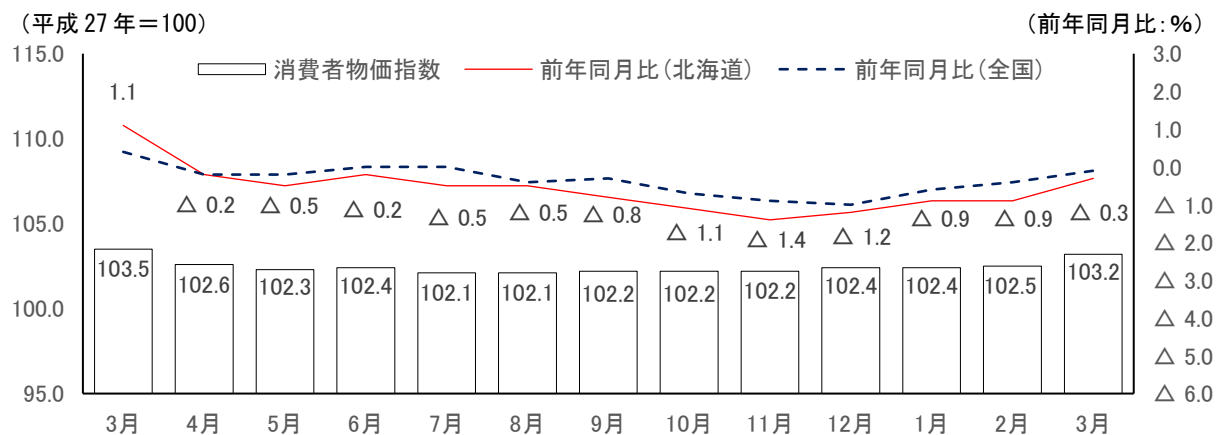


(資料:総務省)

## ■物価～消費者物価指数は前年を下回った

### 消費者物価指数（3月）

消費者物価指数（生鮮食品を除く）は、103.2 で前年同月比 0.3% の下降となり、12 か月連続で前年を下回った。



(資料:総務省)

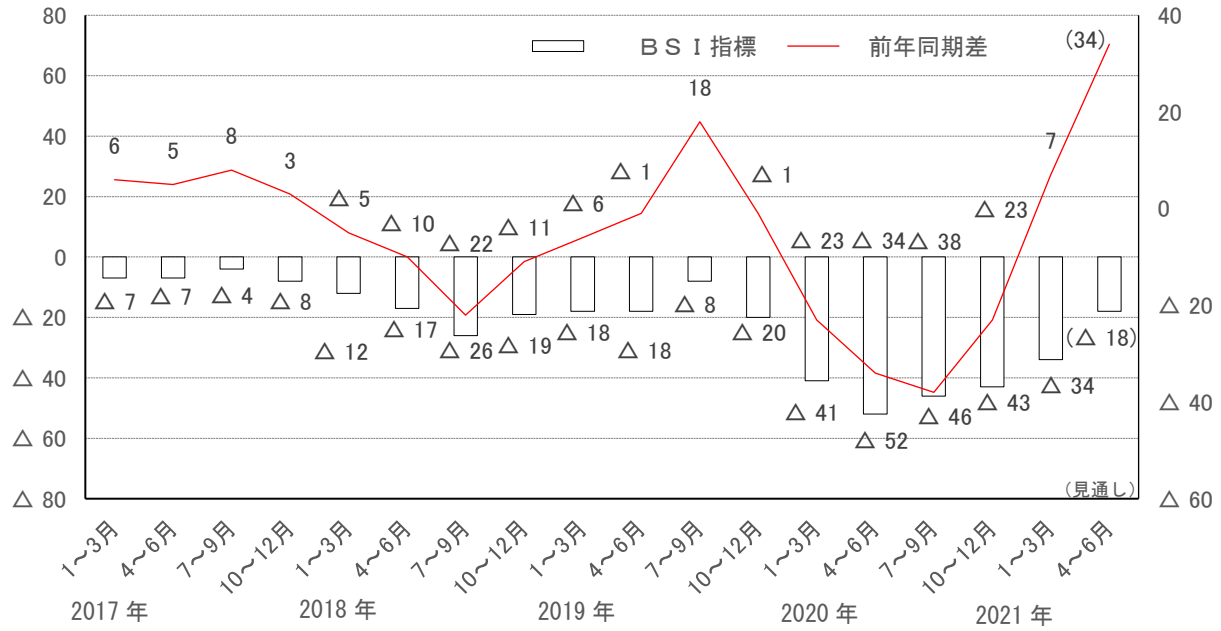


## ■企業経営者意識調査～前期から上昇している

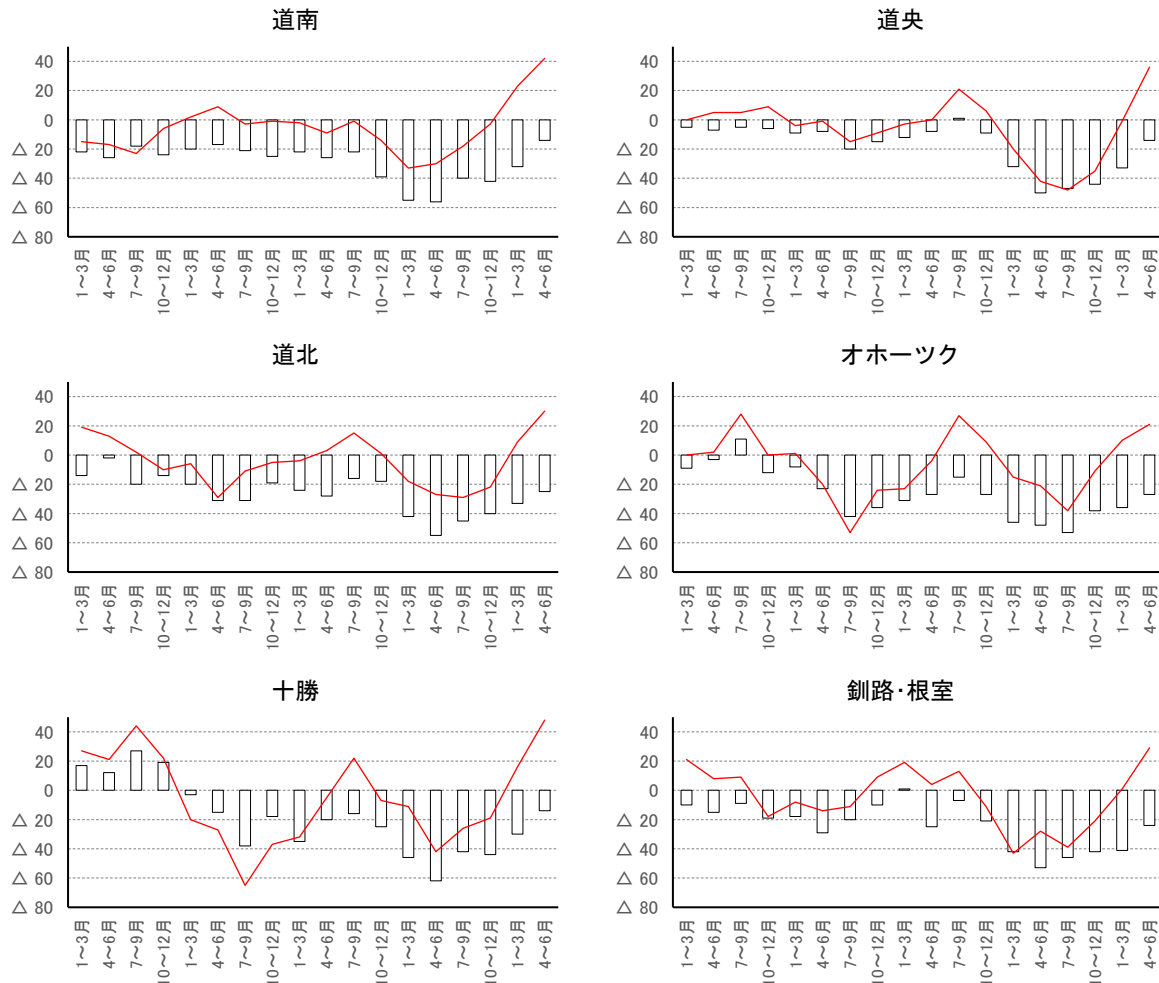
令和3年1～3月期の業況感BSIは△34ポイントで、前期から9ポイント上昇しており、前年同期より7ポイント上昇している。来期見通しは△18ポイントで、今期から16ポイント上昇の見通しとなっている。

(BSIポイント)

(前年同期差:ポイント)



### ■各圏域の業況感BSI (折れ線グラフは前年同期差)



(北海道経済部調べ)

## ■企業のみなさまから伺いました

### ◆百貨店（道央地域）

【売上・客数とも減少傾向、高級品の売上が好調】

4月は、コロナ前の前々年度と比べると売上は7割程度、入店客数はさらに低調となった。道の集中対策期間の終了により、1週目は回復傾向がみられたが、翌週からの全国的な感染拡大により、当初の売上見込みには届かず、最終週の入店客数は前々年度の半数となるほど落ち込んだ。

客数に比べて客単価が高い傾向が継続しており、特に外商やカード保有上位顧客の購買額の減少幅は少なく、高級時計やブランド品などの高額商品が好調である。

例年大盛況の食品催事も閑散とした状態であるが、ネット販売で一定の売上をあげていることから、今後もネット販売の継続、強化を図りたい。

【5月も減少傾向継続】

5月は、GWや母の日などもあったが、感染拡大の影響により売上は振るわず、土日の食料品などの限定営業も、一定の需要はあるものの、自粛傾向が強く、入店客数は少ない状態である。

### ◆コンビニエンスストア（道央地域）

【緊急事態宣言の反動で客数増、自宅需要は引き続き好調】

去年は緊急事態宣言下であり、大幅に人流が抑えられていたため、その反動もあって朝と夜の客数が増加し、弁当や飲料水など外で消費されるものは大きく回復した。主に家庭内で消費される商品もコロナ前以上で推移しており、外出はするが家で過ごすスタイルは継続している。観光地は昨年より回復しているものの、コロナ前を下回っている。オフィス街の人流は回復しておりコロナ前の水準に戻りつつある。

## 最近の経済動向

令和3年5月号

---

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

---

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>